



小林雅文の足跡

(こばやし・まさふみ／怪奇実話作家)

1964年(昭和39年)	7月23日	東京都三鷹市に生まれる。
1973～1974年(昭和48～49年)		小学3～4年生。「UFO」「ノストラダムスの大予言」「超能力」「心霊写真」などのブームが立て続けに到来。超常現象・怪奇現象に強い関心を抱く。
1979年(昭和54年)		中学3年。沢木耕太郎著『テロルの決算』を読み、ノンフィクション、ドキュメンタリーに傾倒。
1981年(昭和56年)		高校2年。8ミリカメラを持つ友人と怪奇現象を追うドキュメンタリー映画を撮影(予算不足で頓挫)。
1982年(昭和57年)		高校3年。『遠野物語』をはじめとする柳田國男の著作に影響され、伝説や怪異譚の世界に傾倒。
1983年(昭和58年)	4月	某私立大学社会学部入学。
1985年(昭和60年)		大学3年。文化人類学ゼミに入室。同ゼミにてフィールドワークの手法を学ぶ。
1986年(昭和61年)		大学4年。関東地方に伝わる怪異譚の現地取材をもとに、卒業論文「日本人と怪異 妖怪の正体は何か？」を発表。この時の経験が、のちの活動の礎となる。
1987年(昭和62年)	3月	某私立大学社会学部卒業。
	4月	学術系出版社・文化学術社に就職。以降、編集者として7年間勤務する。
1994年(平成6年)		文化学術社退社。その直後より、1年余りの歳月を費やし日本全国を巡り、古くから伝わる怪異譚や近年に起こった怪奇実話を収集。
1995年(平成7年)		雑誌『アナザーワールド』(杉書房)に、「怪奇現象をたずねて」を寄稿。怪奇実話作家としてデビュー。
1996年(平成8年)		「怪奇現象をたずねて」の連載をまとめた単行本『怪奇現象ルポ!』(杉書房)を出版。
		以降、多数の雑誌・書籍に執筆。テレビ・ラジオ番組のアドバイザーや出演も努める。
1997年(平成9年)		『妖怪論』(文化学術社)出版。
	11月2日	妻・景子と結婚。
1998年(平成10年)		『超能力者たちの人生』(杉書房)出版。『最恐! 心霊写真100』(東洋パブリッシング)共著。
1999年(平成11年)		その後のライフワークとなる怪奇実話ファイルシリーズの第一作『怪奇実話ファイル』(杉書房)を出版。
		『定番心霊スポット100』(東洋パブリッシング)共著。
2000年(平成12年)		取材にビデオカメラを取り入れ、映像による怪奇ドキュメンタリー作品の発表を開始。
		初のビデオ作品『心霊スポット案内』(杉書房ビデオ製作部)発売。『全国の憑物』(杉書房)出版。
2001年(平成13年)		ビデオ『小林雅文の怪奇実話ファイル』(杉書房ビデオ製作部)発売。
		『日本の怖い話』(東洋パブリッシング文庫)、『続・怪奇実話ファイル』(杉書房)出版。
2002年(平成14年)	5月5日	インターネット上に「小林雅文公式ホームページ」開設。
	10月	ビデオ『憑依』(杉書房ビデオ製作部)発売。単行本『憑依』(杉書房)出版。
		怪奇実話ファイルシリーズの新作の取材に着手。のちの『ノロイ』につながる取材となる。
	11月	怪奇実話ファイルの取材で、ある主婦を訪問。その際、隣に住む異様な雰囲気的女性・石井潤子に遭遇。
		後日、取材した主婦が幼い娘とともに交通事故で死亡。
2003年(平成15年)	7月25日	『新・怪奇実話ファイル』(杉書房)出版。ビデオの新作に向けて怪奇実話の取材を継続。
	8月3日	テレビ特番『驚異の超能力スペシャル』放送。この番組に出ていた少女・矢野加奈に興味を抱き、取材を開始。
	11月26日	トークライブ『怪奇実話ナイト』開催。この時のゲストである女優・松本まりかが体験した怪奇現象に興味を抱き、取材を開始。
		霊能者という触れ込みで登場した堀光男とも出会う。
		以降、矢野加奈および松本まりかの取材の過程で、幾多の怪奇な出来事に遭遇。
2004年(平成16年)	1月13日	矢野加奈の事件と、松本まりかの事件が「かくたば」という言葉でつながる。
	1月18日	「かくたば」に関する取材の中で、石井潤子に再会。
	2月6～12日	取材の過程で出会った人物が次々と不可解なかたちで死亡。松本まりかにも深刻な事態が迫る。
		根源は「かくたば」の呪いなのではないかと推測。
	2月13日	松本まりか、堀光男とともに下鹿毛村が沈んだ鹿見ダムに向かう。
		「かくたば」の呪いを終息させようと試みるが、その結果、予想もしなかった事態に遭遇。
	2月14日	石井潤子宅を再訪問。悲惨な現場を目撃。
	2月29日	この段階までの出来事をまとめるべく作品化を決意。
	3月17日	取材終了。「かくたば」に関するひとつの仮説に到達。これらをまとめた新作ビデオの編集に専念。タイトルは『ノロイ』。
	4月10日	ビデオ作品『ノロイ』完成。
	4月12日	小林の家が全焼。妻・景子、焼死。小林は行方不明。
	5月19日	杉書房ビデオ製作部に、小林雅文からテープの入ったビデオカメラが届く。
2005年(平成17年)		杉書房は『ノロイ』の発売をせぬまま、ビデオ製作部を廃止。プロデューサー・瀬隆重が『ノロイ』の権利を買い取る。
	4月	Jホラーシアター『感染』『予言』のDVD発売。『ノロイ』の予告編併録。
	現在	小林雅文の行方はいまだに不明。